

{ 理学療法ジャーナル } バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は
弊社販売・PR部 (☎ 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804) までお申し込みください。
それ以前の号については東亜ブック (〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎03-5947-4781
FAX 03-3923-4539 E-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/) にお問い合わせください。



Vol.58 No.1(2024年1月号)

特集

Physical Activity

ヒトが安静時よりも多くエネルギーを使う営み「physical activity (身体活動)」は、心身の健康への寄与、免疫能への好影響、生活習慣病予防など、多くの効果が期待されます。現代人の身体活動の減少が注目され、年齢や身体能力に合わせた適切な運動の継続が提唱されています。

本特集はphysical activityの定義、意義、継続の難しさ、疾患群別留意点などを多角的にまとめました。身体運動を専門とする理学療法士として概念を理解し、その意義を理学療法に広く役立てていただきたいと思います。



Vol.57 (2023年)

- No. 12 疾病・介護予防のための運動療法
- No. 11 ヴィジョン—見えるものと見えないもの
- No. 10 ACP—個人の人生史を尊重し受け入れる
- No. 9 運動器理学療法をどう捉えるか
—統合的戦略で自らの思考の枠を乗り越える
- No. 8 睡眠と理学療法の深い関係
- No. 7 腎臓リハビリテーション
- No. 6 脳卒中の予後予測と目標設定
- No. 5 関節間トレードオフ
- No. 4 理学療法の2040年
- No. 3 システムとしての姿勢制御
—メカニズムの解明から臨床応用まで
- No. 2 嚥下機能に着目した理学療法
- No. 1 多様化する急性期理学療法

Vol.56 (2022年)

- No. 12 脊椎圧迫骨折に対する理学療法の工夫
[特別付録 web 動画]
- No. 11 回復期リハビリテーション病棟
—これからの役割と戦略
- No. 10 子どもの成長・発達を支える理学療法
- No. 9 運動イメージ
—科学的根拠に基づく臨床実践をめざして
- No. 8 住まいと暮らし
—理学療法士の環境づくり
- No. 7 人工関節置換術後の理学療法
- No. 6 医療現場におけるサルコペニア・フレイル
- No. 5 動作分析と臨床のマッチング
- No. 4 臨床に活かすニューロリハビリテーション
- No. 3 筋—理学療法士の視点から捉える
- No. 2 進歩する低侵襲手術に応じた理学療法
—治療プログラム、目標設定、リスク管理

特集

骨盤底機能障害と運動器障害の連関

企画 田舎中真由美

エディトリアル 骨盤底機能と機能障害に対する理学療法	田舎中真由美
泌尿器科医から理学療法士に求めること	青木芳隆
産婦人科医から理学療法士に求めること	重見大介
整形外科医から理学療法士に求めること	田巻達也
リハビリテーション科医から理学療法士に求めること	上出杏里
骨盤底機能と腰椎—骨盤帯疼痛	城内若菜
骨盤底機能障害とスポーツ動作	磯 あすか、他
骨盤底機能と変形性股関節症	西村圭二
骨盤底機能と妊娠期の腰痛	山崎愛美
骨盤底機能と排便困難型便秘	永井豊美
男性における骨盤底機能と排泄機能障害	井出志正

Close-up

高齢者とのコミュニケーション

高齢者とのコミュニケーション—想いを推察する	山口美和
高齢者とのコミュニケーション—機能と能力を理解する	横山友徳

連載

単純 X 線写真 読影達人への第一歩 最終回

脊椎圧迫骨折	古谷英孝
理学療法士のための「money」講座③	
老後の資金のために投資を！ って言われても……年金だけではだめなのか？	細川智也
ちょっと気になる理学療法周辺ワード③	
DCD(発達性協調運動障害；developmental coordination disorder)	新田 収
中間管理職の悩み⑨	
スペシャリストであるスタッフの働き方をどのように考え進めればよいのでしょうか？	森 憲一
臨床実習サブノート 臨床実習で技術のステップアップをめざそう 最終回	
治療技術⑥ 日常生活活動練習	岡崎俊秀、他

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください。

年間購読のご案内

- 1冊ずつ購入するよりお得！
- 発行後すぐに送料無料でお届けします！
- 「電子版」なら、1年分の購読料で創刊号からのバックナンバーが読み放題！

お申し込みは医学書院ウェブサイトまたは弊社販売・PR部まで

TEL 03-3817-5650 / FAX 03-3815-7804
<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>



2024年 年間購読料

(12冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	23,232円
冊子+電子版/個人	26,532円
電子版/個人	21,912円